## 幼児教育に役立つ動画を配信中!







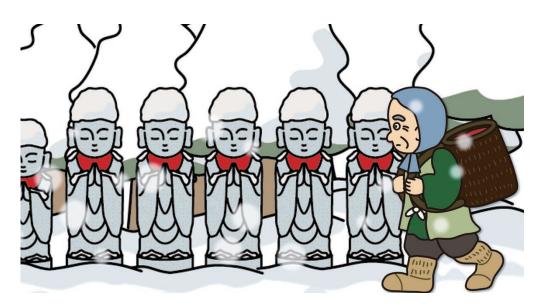
https://www.nobilabo.com/

©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。





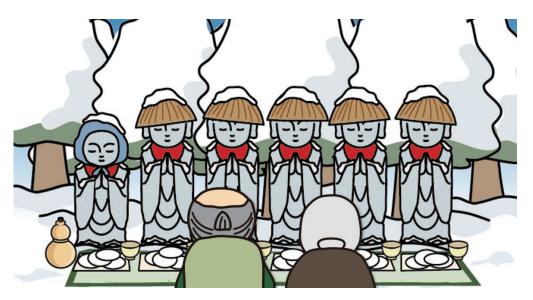
この おくりものは、おじぞうさま からの かさの おれい でした。 とつぜんの おくりものに ふたりは おおよろこびです。 ちいさな かげの ぎょうれつに むかって なんども おれいを いいました。



おじぞうさまの あたまは、ゆきで まっしろ です。 そとは ゆきが ふっています。 むらはずれまで いくと、おじぞうさまが 6つ ならんで たっています。



ある むらに、まずしい おじいさんと おばあさんが すんでいました。 おおみそか なのに、おもちを つく おこめも ありません。 おじいさんは しかたなく まちに おばあさんの ふるぎを うりに でかけました。



ふたりは もらった おこめで おもちを つき、すぐに おそなえに いきました。 「おじぞうさま、このたびは ほんとうに ありがとう ございました。」 おじいさんと おばあさんは とても たのしい おしょうがつを すごしました。 ふたりは、それからも おじぞうさまを たいせつにし、なかよく しあわせに くらしました。



「こんな ゆきのなか、さむかったでしょう。」 おじいさんは、おじぞうさまに おそなえするものを なにも もって いませんでした。 おじいさんは、ひとつ ひとつ ゆきを はらい、ゆきの だんごを おそなえ しました。



「おや、あれは きのうの おじぞうさまたち じゃないか。」 おじいさんは びっくりして いいました。



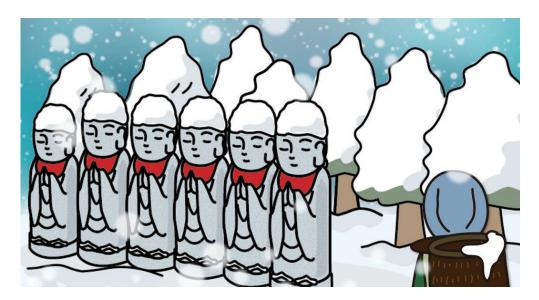
びっくりした ふたりが、はつひのでの ほうを みると、ちいさな かげが、 やまを こえていく ところでした。 よくよく めを こらして みると、あたまに おじいさんの てぬぐいを かぶっています。



まちに つきました。 おじいさんは ひとびとに よびかけました。 「ふるい きものは いりませんか。じょうぶで あたたかい ですよ。」 でも、だれも おじいさんに みむきも しません。とうとう、ふるぎは うれませんでした。



ふたりは、そうっと とびらを あけました。「これは どうしたことじゃ!」 「おじいさん、これは・・・。」 ふたりは おどろいて めが まんまるに なりました。



そして かえりみち、また ゆきが ふり はじめました。 おじいさんは また おじぞうさまの まえを とおりました。 おじぞうさまの あたまに、また ゆきが つもって います。

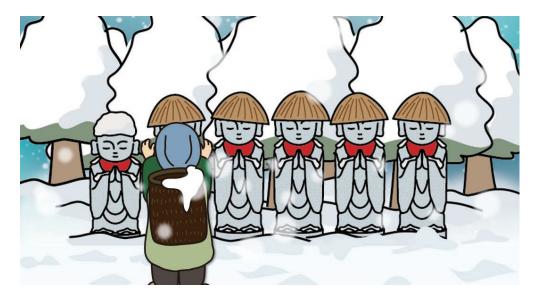




がっかりして かえろうとすると、かさうりが やってきました。 「どうだい。その ふるぎと わしのかさを とりかえないか。」 おじいさんは かんがえました。おこめが ほしいので、かさは いらないのです。 でも、かさうりの こまった かおを みて ふるぎと かさを こうかん することに しました。



いえの まえに、こめだわらや やさい、さかなや おみそ、おさけまで たくさんの たべものが どっさり おいて ありました。



「これは これは、さむかったでしょう。そうだ。この かさを かぶって くだされ。」 おじいさんは、もっていた かさを おじぞうさまに かぶせました。 でも、おじぞうさまは 6つ なのに、かさは 5つしか ありません。 「おや こまった。ひとつ たりないよ。」



「そこに いるのは どちらさま ですか。」 おじいさんが こえを かけても、へんじは ありません。 しばらくすると、あしおとが して、かげは みえなくなりました。



うたごえは どんどん ちかづいて、とうとう おじいさんの いえのまえ まで くると、 ドスン! ドシン! と、なにかを おくおとが して、そのまま きえて しまいました。



なやんだ おじいさんは よいことを おもいつきました。 おじいさんは じぶんが かぶっていた てぬぐいを とると、 おじぞうさまに かぶせて あげました。 「きたない てぬぐい じゃが、ごしんぼうくだされ。」



ふと、おじいさんは めを さましました。 そとから ふしぎな こえが きこえて くるのです。 「いったい なんでしょう。」 おばあさんも めを さましました。



ゆきまみれで かえった おじいさんを みて おばあさんは たいそう おどろきました。 けれども、おじいさんから はなしを きいて にっこり しました。 「それは よいことを されましたねぇ。きっと おじぞうさまも よろこんだでしょう。」



そして、おじいさんは おじぞうさまに てを あわせました。 「もちも おそなえ できませんでしたが、よい しょうがつを むかえて くだされ。」



じいさまの いえは どこじゃ。 かさの おれいを とどけに きたぞ。 じいさまの いえは どこじゃ。じいさまの いえは ここじゃ! そとからの こえは、こんなふうに きこえて きます。



「だけど しょうがつの おもちが かえなかったよ。」 おじいさんが もうしわけなさそうに いうと、 「まあまあ、いいんですよ。」 」 おばあさんは、にこにこして いいました。



その よるのこと です。 ゴーン、ゴーン、じょやのかねが ひびきます。 「よい おしょうがつに なりますように。」 いつのまにか、ふたりは ねむって しまいました。